

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措 置 名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補 修又は維持運営等措置	朝日クロスカントリースキーコース整備 事業	士別市	576,000	576,000	総事業費 682,000

Ⅱ. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名		交付金事業の名称						
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置		朝日クロスカントリースキーコース整備事業						
交付金事業者名又は間接交付金事業者名			士別市						
交付金事業実施場所			士別市朝日町						
交付金事業の概要		クロスカントリースキーコースは従来、圧雪車により整備を行ってきたが、近年、初冬時の雪不足により、コース整備や開設に遅れが生じていることから、本交付金を活用し、少雪でも整備を可能とするクロスカントリーローラーコンパクターを購入し、早期開設による利用者の拡大を図ります。							
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関係する主要政策・施策 士別市まちづくり総合計画【地区別計画】（平成30年度～令和7年度） お互いの顔の見える地域だからこそ、細やかなコミュニティを形成する地域づくりをめざすとともに、少子高齢化に伴う、次世代の担い手の育成を進めます。また、合宿、観光などによる交流人口の増加をめざすため地域で心のこもった“おもてなし”（ホスピタリティ）に努めます。 (4) 地域づくりの取り組み ①「現有施設の有効活用」 サンライズホールや各種スポーツ施設などの公共施設を多く有しているため、施設の利用促進と有効活用をするなかから、さらなる地域コミュニティを醸成します。 目標：朝日クロスカントリースキーコース利用可能日数（12～3月） 121日（令和5年度）							
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度		令和4年度			
事業期間の設定理由									
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度		令和5年度	
		朝日クロスカントリースキーコース利用可能日数 121日	朝日クロスカントリースキーコース利用可能日数 (日)	成果実績	日				
				目標値	日	121			
				達成度	%	0.0			
		評価年度の設定理由							
		実績が確定するのが事業実施の翌年度になるため。							
		交付金事業の定性的な成果及び評価等							
		本交付金を活用し、クロスカントリーローラーコンパクターを購入したことで、クロスカントリーコースの早期整備・開設が可能となりました。 引き続き、適切な運営を続け、安定的な利用者数の確保に努めるほか、利用者の利便性の向上、円滑な施設運営に努めていきます。							
		評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無									
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	令和4年度	令和 年度	令和 年度		
		クロスカントリーローラーコンパクターの台数（台）	活動実績	台	1				
			活動見込	台	1				
			達成度	%	100.0%	0.0%	0.0%		
交付金事業の総事業費等		令和4年度	令和 年度	令和 年度	備 考				
総事業費		682,000							
交付金充当額		576,000							
うち文部科学省分									
うち経済産業省分		576,000							
交付金事業の契約の概要									
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額			
物品購入		随意契約		株式会社江端商店（士別市）		682,000			
交付金事業の担当課室		士別市市民自治部朝日支所地域住民課							
交付金事業の評価課室		士別市教育委員会生涯学習部地域教育課							

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	朝日クロスカントリースキーコース整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	土別市
交付金事業の成果目標	朝日クロスカントリースキーコース利用可能日数 121日
交付金事業の成果指標	朝日クロスカントリースキーコース利用可能日数（日）
評価年度	令和5年度
成果実績	114
目標値	121
達成度（％）	94.2%
評価年度の設定理由	実績が確定するのが事業実施の翌年度になるため。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	本交付金を活用し、クロスカントリーローラーコンパクターを購入したことで、クロスカントリーコースの早期整備・開設が可能となりました。 しかしながら、気温の上昇により前年以上に雪解けが進んだため、令和5年3月下旬以降はコースの開設が困難となり、成果目標を達成することができませんでしたが、引き続き、適切な運営を続け、安定的な利用者数の確保に努めるほか、利用者の利便性の向上、円滑な施設運営に努めていきます。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

（備考）事業ごとに作成すること。

（注）用紙の大きさは、日本産業規格に定めるA4とし、横位置とすること。